



令和7年度 12月号

矢中だより

大田区立矢口中学校

HP アドレス <https://www.ota-school.ed.jp/yaguchi-js>

今年も残すところあとわずか

校長 鈴木 孝洋

冷たい風に冬の訪れを感じる季節となりました。道端の木々も葉を落とし、早朝には吐く息が白くなる日が増えてきました。いよいよ2学期も残りわずかとなります。生徒たちは行事や学習に真剣に取り組み、心身ともに一回り大きく成長してくれたように感じます。

2学期は、矢中祭発表部門をはじめ、多くの取組が行われました。今年の合唱コンクールは、アプリコの大ホールで行われました。どのクラスも心を一つにして歌声を響かせ、これまでの練習の成果を存分に発揮してくれました。仲間と声を合わせることの難しさと楽しさを味わい、クラスとしての団結が一段と強まったことと思います。

その中でも3年生は、特別でした。中学校生活最後となるステージに向けて、それぞれのクラスが主体的に練習に励み、その姿は下級生に大きな刺激を与えてくれました。合唱後の達成感に満ちた表情からも、全力を注いだ3年間の成長が感じられました。

一方で、12月は一年のまとめをすると同時に、気忙しさから気持ちが乱れやすい時期でもあります。学校生活においても、忘れ物や提出物の遅れ、些細なトラブルが増えがちです。こうした時こそ、落ち着いて周りを見渡し、相手を思いやる心を大切にしてほしいと思います。寒さが厳しくなる分、温かい言葉やちょっとした助け合いが、クラスの雰囲気をごくと良くしてくれます。

特に気になるのが2年生の授業をはじめとする学校生活です。授業に集中できず、友達と話してしまう人、指示通りに行動できないこともあったりと、真剣に授業を受けたい生徒の妨げとなる場面もあります。その中で、学級委員を中心としてより良い授業を作るためのキャンペーンや授業をしっかりと受けようと声掛けする生徒の姿も見られるのは素晴らしいと思います。今年の課題は今年のうち改善へしっかりと歩みを進めたいことから、教職員だけでなく、保護者の方にも授業の見守りをしていただくことを始めます。矢口中の教育目標にある、気づき、考え、行動できる生徒を育てるために、教職員、保護者も力を合わせます。多くの気づき、考えていた生徒の「行動」の後押しになればと思います。2年生保護者の皆様、ご都合がございましたらご来校いただき、授業をご参観ください。どうぞ、よろしく願いいたします。

3年生にとっては、進路決定に向けた大切な時期を迎えています。不安を抱く生徒もいるかと思いますが、自分の努力を信じ、一日一日を大切に積み重ねていってほしいと思い

ます。私たち教職員も、生徒一人ひとりの気持ちに寄り添いながら全力で支えてまいります。保護者の皆様にも、体調管理や励ましの声かけなど、ご家庭でのサポートを引き続きお願いいたします。

今年も、矢口中学校ではさまざまな行事が生徒主体となって実施され、その中で生徒の成長や感動を味わうことができました。地域の皆様、保護者の皆様、PTAのさまざまな活動では、快くご協力を頂き、感謝申し上げます。地域の子ども、お子さまの健全な成長のために、来年も引き続き本校の教育活動へのご理解ご協力をお願いいたします。新年が皆様にとって、素晴らしい一年となりますよう願っております。

矢中生の活躍

『中学生の「税についての作文」』

東京国税局管内納税貯蓄組合連合会優秀賞 3年

『大田区中学校人権啓発作品展』

習字の部	3年	3年
ポスターの部	2年	2年
標語の部	3年	2年



『7組』

連合スポーツ大会 バasketボール 2ブロックA 準優勝
4ブロックB 第3位



『令和7年度薬物乱用防止ポスター』

こども文教委員長賞 1年



『大田区立学校読書感想文コンクール』

優良作品	3年	3年
佳作	2年	2年
	1年	1年

『ボランティア活動など』

下丸子ふれあいフェスティバル

下丸子オータムフェスタ

防災拠点訓練

